

所管事務調査の報告

総務文教常任委員会

「スクールバス運行状況と安全点検状況について」

去る11月8日教育委員会から奈良教育次長・大滝主事出席のもと「スクールバス運行状況と安全点検状況」について所管事務調査を行いました。

昨年と今年に渡り、通園バスでの置き去り死亡事件が発生し、重大な社会問題となっています。七ヶ宿町の子供達もスクールバスにより園児や児童が通園・通学を行っているため委員からは、運行状況や安全対策について様々な内容について意見が出ました。

登下校時の人員確認状況について、教育委員会がスクールバスの運行を委託している事業者（有）七ヶ宿観光タクシーで確認を行ったところ、乗車数と降車数の確認は確実に進んでいるとともに、点検簿はないが、業務終了後には車内の点検を徹底しているとのことでありました。又、これまでに置き去り事件及びこれに類似した事案も発生していませんとのことです。

もしも置き去りにされた時の、対処方法の指導については、今後検討するとのことでありました。

国では、来年4月に置き去り防止安全装置を義務化するとのことであるが、当町のバスへの装置の取り付けも早急に検討すべきことを提言するとともに、子供たちの安全確保に万全を期することを望み所管事務調査の報告と致します。

総務文教常任委員会
委員長 五十嵐 敏 夫



▲町のスクールバス



▲所管事務調査会議

問

3期目の町政運営での優先課題は

答

「小さくても持続可能な町」を目指す

「第6次七ヶ宿町長期総合計画」、「七ヶ宿町ふるさと創生総合計画」を策定し様々な事業に取り組んでいるが、町政3期目の取り組みとしてどの事業を最優先課題としているか。

第一次産業の活性化、町民の暮らしを守る安全安心対策、教育の充実、若者定住と雇用の拡大、都市との交流をスピード感を持って取り組み町民が元気で「小さくても持続可能な町」を目指す。

問

5つの事業を総合的に判断しながら行うと行うことだが、来年度予算にどの事業を目玉に挙げるのか。

第一次産業の活性化については主に森林環境譲与税を活用した森林の整備、有害鳥獣処理施設のスムーズな運用、全般的な担い手の確保。

問

町民の暮らしを守る安全安心対策として、刈田総合病院が白石市が運営していくことに対して町民の健康と命を守る方策を講じます。町営バスの運行については、運行方法を検討する。



高橋 茂美 議員

町民の暮らしを守る安全安心対策として、刈田総合病院が白石市が運営していくことに対して町民の健康と命を守る方策を講じます。町営バスの運行については、運行方法を検討する。



▲ベガルタハウス

育所の新築が最大の事業になります。保育士の増員、土曜保育の充実も行います。若者定住と雇用の拡大については、若者定住住宅の建設、第3セクターの統合に着手します。指定管理者制度の見直しも検討する。

問

第6次産業の推進、道の駅にある加工施設の活用は？

個々に取り組んでいる方々の相談に応じるとともに、外部の方々の意見を聞きながらしっかり検討する。



▲道の駅（加工施設）